輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind

大切なのは自分自身の「選択・自己決定・実行」＆「緊張と集中」
－Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

今日から１０月が始まりました。早いものです。明後日、３日は七十二候でいう「水始枯（みずはじめてかる）」天地の水が枯れ始める頃、田んぼの水を抜き、稲刈りの準備をする頃ということです。学校の周りの田んぼも稲穂を実らせています。田植えから５カ月、稲も大きく生長してきました。稲刈りの季節がやってきました。季節は確実に動いています。さらに緊急事態宣言も今日から全面解除となりました。このことについては、本日、別紙を全校生に配布しておりますので、必ず御覧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

さて、２学期が始まり１カ月が過ぎました。子供達は、この１カ月をしっかりと振り返って欲しいと思います。この１カ月、自分の成長という視点で自己を振り返って欲しいと思います。自分が頑張ったこと、こんなことができるようになった、このことに夢中になれた、自分でこうだと決めていたけど･･･、思っていたほどできなかったこと、中途半端なことになってしまったこと、続けてできなかったこと等、色々なことがあると思います。計画、目標通りにいくこと、いかないこと、その両面があって当然です。ただ、大切なことを見失わないことです。その為に振り返りがあるのです。**今、子供達に求めている自分自身による「選択・決定・実行」のプロセスを大切にすること**を考えて欲しいと思います。１０月３０日は運動会です。２年ぶりの開催。１年生、２年生にとっては小学校で初めての運動会となります。初めてと言えば全校生にとっては初めての「午前中開催」となります。実施時間は短くなりますが、子供達の運動会にかける熱い思いは変わらないと思います。運動会で子供達はどのような目標を立てるのでしょうか。大きな３つの演技には、「走・表・争」があります。つまり、「走ること」「表現すること」「争うこと」この３つです。例えば、「走ること」、保護者の皆様は「走ること」についていかがだったでしょうか。私は徒競走のあの緊張感が大変印象に残っています。単純に、ただ、ゴールを目指し走るだけなのですが、毎年、緊張していました。また、運動会当日朝の張り詰めた空気感もとても好きでした。勝負の場ではこのような緊張感が張り詰めています。ある意味心地よいものです。このような勝負の場においてもう一つ大切なことは「集中」だと考えています。**「緊張」は、身体の動きを硬くしてしまうことがあります。**スポーツを経験された方は、このことがよくお分かりになるのではないかと思います。大きな大会の試合に臨んだ時、会場の広さやその場の雰囲気、試合相手の様子が分からないこと、作戦が上手くいくか、自分達の実力が出せるか等、不安は尽きません。様々な要因が複雑に絡み合い、不安な気持ちがどんどん大きくなります。それに呼応するように「緊張」がさらに高まっていきます。その結果、平常心でいることが難しくなり、体には余計な力が入るといったようなことが起こります。「緊張」は、自分の力を最大限に発揮するにはあまりいいものではないと思います。その反面、**「集中」は、自分の心や体が全てにおいていい状態だと思います。心と体はリラックス、しなやかさを保っています。自分の能力の全てが、最大限に、目指すべき方向に向かっている。**そんな状態であると考えます。少し話が大きくなりましたが、子供達にもそのような状態になって欲しいと思っています。この運動会で、自分の能力を最大限に、如何なく発揮して欲しいと願っています。

緊急事態宣言全面解除。しかし、引き続き、**「恐れず、正しく、適切に」**対応し、**感染症対策（朝の検温、マスクの着用【不織布マスクを推奨】、手洗い、手指の消毒、３密回避等）を徹底**します。保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症についてご心配なことがございましたら遠慮なくご相談ください。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。

学校通信　No.４０　令和３年１０月１日　小野市立中番小学校長　田中康善